

BuzzFive

the 24th year Concert バズ・ファイブ
結成 24 年 コンサート

3/²⁰²¹
5
(FRI)

東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー B1F 京王新線 初台駅東口下車 徒歩 5 分以内

(東京オペラシティビルに直結しています。)

開場 18:00 / 開演 18:30

出演 —————

上田 じん (Tp)

松山 萌 (Tp) に代わり佐藤 友紀 (Tp)

友田 雅美 (Hr)

加藤 直明 (Tb)

石丸 薫恵 (Tu)



佐藤 友紀

プログラム —————

・小フーガ ト短調

ヨハン・セバスティアン・バッハ作曲 / 上田 じん編曲
Fugue in G minor / J.S.Bach / J.Ueda

・4つのスケッチ

アンソニー・プログ作曲
4 Sketches / Anthony Plog

・オペラ座の怪人

アンドリュー・ロイド・ウェッバー作曲 / 金澤恵之編曲
The Phantom of the Opera / Andrew Lloyd Webber / S.Kanazawa

他

チケット料金：一般 3,000 円 高校生以下 2,000 円

お問い合わせ先 : buzzer@buzz-five.com

[後援]

日本トランペット協会 / 日本ホルン協会 / 日本トロンボーン協会 / 日本ユーフォニアム・テューバ協会

[協賛]

お茶の水下倉楽器 / 管楽器専門店ダク / 管楽器専門店ウインドクルー / 株式会社 グローバル

真田貿易株式会社 / ドルチェ楽器管楽器アヴェニュー東京 / 野中貿易株式会社

有限会社 ミルズ / 株式会社 ヤマハミュージックジャパン

金管五重奏団 Buzz Five

東京藝術大学の同期生によって1997年に結成。トランペット2本、ホルン、トロンボーン、チューバで構成される、日本を代表する金管五重奏団として活躍している。

2000年東京藝術大学室内楽定期演奏会への出演を皮切りに、本格的に活動を開始。

FIFAワールドカップや日展のオープニングセレモニーホールを始め、数々のイベントにも招かれる。「ジャパン・プラス・コンペティション2001」金管五重奏部門第1位、併せて、大賞・洗足学園賞・川崎市長賞を受賞。個々の演奏技術やアンサンブル能力に加え、音楽の楽しさが伝わる舞台進行や、吹奏楽の指導者としての能力も、高く評価されている。活動の場は全国に及び、アウトリーチ活動にも大きな力を注いでいる。一般社団法人地域創造の公共ホール音楽活性化事業では2004年より登録アーティストを務め、全国各地の公共ホールでの演奏と併せて、地域との交流や、吹奏楽の指導にも積極的に取り組んでいる。また、2005年より、公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団の「MEET THE MUSIC~アーティストが学校にやってくる」に出演。毎年県内各地の公立学校を訪れ、好評を博している。2010年に伊豆市の全小・中学校31校を訪問した音楽鑑賞教室でも、子ども達に大きな感動を届けた。2002年にファースタルバム「Disc Buzz」、2009年にセカンドアルバム「バズーカ」をリリース。2013年にリリースした「Buzz plays BACH」は、東京文化会館でのCD発売記念コンサートとともに、各方面で高く評価される。渡辺満里奈作・出演の音楽絵本「ありがとうターブ」では音楽を担当し、コンサートも数多く出演、2010年にDVD化され、大好評を博している。これまでに室内楽を栗田雅勝、神谷敏の両氏に師事。日本を代表する金管アンサンブルとして国内外での更なる活躍が期待される。

<http://ja-jp.facebook.com/brassquintet.buzzfive>

佐藤友紀 Tomonri Sato (Trumpet)

1977年生まれ。東京藝術大学音楽学部卒業。アカンサス音楽賞受賞。94,95,98年、アジア・ユース・オーケストラのメンバーとして、日本・中国ツアーアメリカツアーエuropeツアーに参加。96年、P M F (パシフィック・ミュージック・フェスティバル)にジュニア・フェローラーとして参加。97年、19歳でシエナ・ウインド・オーケストラに入団。

2000年、読売新聞社主催新人演奏会、サントリーホール主催レインボーリサイタルコンサートに出演。同年、小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトやP M Fにオーケストラカデミーとして参加。

2001年～2003年、東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師(芸大フィルハーモニア)を務める。2003年～2006年、財団法人ローム・ミュージック・ファンデーション及び野村国際文化財団の奨学金を得てドイツ国立ハンブルク音楽大学に留学。2006年、東京交響楽団に首席奏者として入団。国内外の数々のコンクールに入賞しており、99年、第16回日本管打楽器コンクール第1位。

2000年、第69回日本音楽コンクール第2位。2002年、第2回リエクサ国際ライモ・サルマス・トランペットコンクール(フィンランド)入選。2003年、第72回日本音楽コンクール第2位。2004年、エリーゼ・マイヤー音楽コンクール第2位。2005年、ドイツ音楽大学コンクール第2位。第6回フィリップ・ジョンソン国際コンクール(フランス)トランペット部門第3位。

ソロや室内楽において様々な活動を行っており、2010年には東京オペラシティ文化財団主催「B→C」リサイタルシリーズに出演。2015年に師であるマティアス・ヘフス氏や兄弟子である辻憲一氏らと共にC D「FIREWORKS」を、2017年には自身初となるソロアルバム「PRAYER」を、2019年にはトランペットアンサンブル「BachArtistsJapan 匠」のメンバーとして「Celestial Dance」をリリースし、3枚全てレコード芸術誌において特選盤に選出された。これまでにトランペットを、岡田治久、杉木峯夫、福田善亮、エドモンド・コード、故ピエール・ティボー、マティアス・ヘフスの各氏、室内楽を稻川栄一、杉木峯夫の両氏に師事。現在、東京交響楽団首席トランペット奏者、シエナ・ウインド・オーケストラ客員契約団員。東京アトラクティヴ・プラス、Brastone 各主宰。

BlackBrassFive、T-Bros.、BachArtistsJapan 匠 各メンバー。東京藝術大学、洗足学園音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校ティプロマ科、各非常勤講師。ドルチェ東京ミュージックアカデミー講師。日本トランペット協会常任理事。

上田じん Jin Ueda (Trumpet)

京都市に生まれ、12歳よりトランペットを始める。15歳より京都市交響楽団トランペット奏者である、早坂宏明氏に師事。京都市立堀川高等学校音楽科分校では藏野雅彦氏に師事し、東京藝術大学音楽学部では北村源三氏に師事する。在学中より金管五重奏団 Buzz Five を主宰し、室内楽を稻川栄一、栗田雅勝、神谷敏の各氏に師事した。大学を卒業後の2000年10月に行われた、第69回日本音楽コンクールトランペット部門で第一位、松下賞を受賞し、これを機にオーケストラ奏者としても本格的に活動を開始する。2001年には Buzz Five として、ジャパンプラスコンペティション2001にて、第一位、大賞、川崎市長賞、洗足学園賞を受賞する。2002年にシエナ・ウインド・オーケストラに入団。2004年に京都ハロックザールにて行なったリサイタルが評価され、平成16年度青山音楽賞受賞。2007年には東京シティ・フィルに入団し、2015年まで一番奏者を務める。平成21年度(2009年)新進芸術家海外研修制度(文化庁)研修員としてワイマー・フランツリスト音楽院に留学し、トランペットをUwe Komischke 氏に室内楽をWalter Hilgers 氏に師事する。帰国後の2012年には東京オペラシティリサイタルシリーズB→C 出演し、講評を博す。これまでに東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、セントラル愛知交響楽団と協奏曲を共演。2004年ソロアルバム「カレイドスコープ」2006年「テレスコープ」2013年「マイクロスコープ」をそれぞれ発表する。現在もシエナ・ウインド・オーケストラ契約団員、金管五重奏団 Buzz Five リーダー、東京トランペットカルテット、京都トランペットグループスマーブリーズ各メンバー。2017年4月より名古屋音楽大学専任講師として名古屋に移住するが、洗足学園音楽大学の講師も兼務している。近年は教則本などの執筆にも力を注ぎ、2018年11月に「読むだけでトランペットがうまくなる本」を出版する。スタジオプレーヤーとしても活動し、CM、ゲーム音楽、ドラマBGMを始め、TVアニメ「響けユーフォニアム」の高坂麗奈のトランペットを担当し注目された。

松山萌 Moe Matsuyama (Trumpet)

島根県隠岐の島町出身。12歳よりトランペットを始める。東京藝術大学卒業。学内にてアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。藝大フィルハーモニア管弦楽団(東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師)を経て現在、東京交響楽団トランペット奏者。第30回日本管打楽器コンクール部門第1位、併せて文部科学大臣賞、東京都知事賞受賞。特別大賞演奏会において東京ニューシティ管弦楽団特別賞を受賞。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」出演。ソリストとして東京ニューシティ管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団と共に演。これまでにトランペットを小曲俊之、佛坂咲千生、杉木峯夫、早坂宏明、古田俊博、佐藤友紀、柄本浩規の各氏に師事。室内楽を守山光三、稻川栄一、柄本浩規の各氏に師事。The Schilke Five、ズーラシアプラスお友達ブレイヤー。ドルチェ東京・ミュージック・アカデミー講師。著書に教本「中学生・高校生のための吹奏楽教本トランペット」「吹奏楽コンクールまでに身につける!トランペット1年間上達トレーニング」(いずれもシンコー・ミュージックエンタテイメント刊)。

友田雅美 Masami Tomoda (Horn)

埼玉県出身。12歳より山本真氏に師事しホルンを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、同大学を卒業。東京藝術大学同声会新人演奏会出演。彩の国新進音楽家オーディション合格、同デビューコンサート出演。東京藝術大学学生オーケストラ、ルーマニア国立交響楽団等と共に演。文化庁在外研修員として派遣されたハンガリー、ブダペスト・フランツ・リスト音楽院を、2004年に修了。ホルンを山本真、松崎裕、M.ナジ、守山光三、V.バビリン、F.アダム、S.バーレマの各氏に、室内楽を岡崎耕治、栗田雅勝、神谷敏の各氏に師事。2004年木曾音楽祭(日本・長野)、2013年ラ・フォル・ジュルネ(フランス・ナント)、2017年ロストロポーヴィチ国際音楽祭(ロシア・モスクワ)に参加。横浜シンフォニエッタ首席奏者。

加藤直明 Tadaaki Kato (Trombone)

東京藝術大学音楽学部卒業。トロンボーンを故白石直之、故永濱幸雄、神谷敏、イアン・バウスフィールド、箱山芳樹、山本浩一郎の各氏に師事。

国内外のオーケストラ、またスタジオワーク、ミュージカル等で活躍。東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師を務め、ソリストとして、またTrio "N" や金管五重奏団 Buzz Five のメンバーとしても全国各地を訪問し数多くのコンサートに出演。またアウトリーチ活動にも力を注いでいる。指導の分野でも厚い信頼を得ており、吹奏楽界ではバンドディレクターとして、アウトリーチアーティスト育成研修会では講師やコーディネーターとして活躍している。一般財団法人地域創造《公共ホール音楽活性化事業》協力アーティスト。

Trio "N"、金管五重奏団 Buzz Five、アンサンブル東風、The Best Bee-Brass in Japan、シンフォニエッタ静岡の各メンバー。

石丸薰恵 Masaë Ishimaru (Tuba)

富山県出身。12歳よりチューバを始める。東京藝術大学音楽学部卒業。チューバを中村年男・稻川栄一・佐藤潔の各氏に師事。オーケストラ、吹奏楽の他、室内楽やアンサンブルなど多方面に渡り演奏活動を行う。他、後進の指導にも積極的に力を注ぐ。アンサンブルのベースを確実に支え、且つ繊細で暖かみのある音色に定評がある。数少ない女性チューバ奏者として特徴的な活動を展開している。聖徳大学兼任講師。